

あゆみ

J C H O
二本松病院

二本松市成田町1-553
TEL.0243-23-1231
FAX.0243-23-5086
http://nihonmatsu.jcho.go.jp
発行者:あゆみ編集委員会



にぎやかな敬老会



おいちゃんおばちゃん
いつも
ありがとう
いつまでも元気でっ

長い間社会の為に尽くしてこられた高齢者の皆様を敬い、
長寿を祝い9月13日、老健施設にて「敬老会」が開催されました。

六角施設長より利用者の皆様へ御礼の言葉の後、今年度の長寿を祝う節目(賀寿祝い)の利用者様へ、施設から記念品の贈呈があり、続いて施設職員による余興「どじょうすくい」が会に華を添えました。プロ顔負けの滑稽な仕草で利用者様の笑いとお声で盛り上がりました。また、二本松市内で活躍されている「三菊会」の皆様による民謡の唄と踊りは、利用者様の耳馴染みの「花笠音頭」と「会津磐梯山」で、



踊り手さんと一緒に身振り手振りでお唄も口ずさみながら大変盛り上がりました。最後は、利用者様代表の方より施設へのご挨拶をいただき、大類副施設長の万

歳三唱で楽しいひとときに幕を閉じました。

今年の「敬老の日」、当施設の最高齢者は102歳です。どんな時代を過ごし、何を見てこられたのでしょうか。「歳を重ねる」ということは経験を積むこと。自分の祖父母はもちろん、周りにいる高齢者の方々は皆、私たちの何倍も苦勞を重ねた経験を積んできた「人生の師」です。

老健施設で働く私たちにとって、利用者様の笑顔と感謝の言葉は大きな励みであり喜びです。ご家族のもとを離れている利用者様の日々の生活が楽しく充実したものであるよう、老健職員一同これからもサポートしていきたく思います。

(老健)サービス向上委員会 佐藤 薫



医大研修生の実習を受け入れました

9月11日～13日の3日間、福島県立医科大学医学部1年生6名が介護老人保健施設で地域実習を行いました。

3日間で特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、重症心身障害施設を巡る実習です。様々な福祉施設の活動と役割を理解し、医療人として相応しい心構えと態度を身につける「老いを支える」「障害と共に生きる」ことを理解し、健康であるとはどういうことが、考えを深める目的で行いました。

病院で治療して退院した後、どのように生活しているか知りたいという学習目的があり、地域包括支援・居宅支援センターの方々の講義から多くの事を学んでいました。

9月13日は敬老会が開催され利用者の生き生きとした表情、活気あふれる雰囲気を感じていました(どじょうすくいにも参加)。そして、介護老人保健施設でのイベントの大切さも学んでいたようです。

利用者の方と会話している時の笑顔がとても素敵だったのが印象的でした。一般教養中心の勉強の中で利用者とのふれあいは得る事が多かったと



思います。在宅医療に関心を持ち2025年以降の超高齢化社会の真っ只中で活躍することを心から応援しています。

今回の実習に於いてご協力いただいた利用者の皆様、各部署の方々に御礼申し上げます。

老健看護師 菅野 春江



救命救急医療講習会に参加しました

9月9日(土)16時から安達地方広域行政組合消防本部で行われた、安達医師会主催の「救命救急医療」の講習会に参加してきました。約70名の参加者で安達医師会副会長吉田幹男先生のご挨拶の後、講師の福島県立医科大学救急科の塚田泰彦先生、三澤友誉先生による講義を聞きながら福島ACLSトレーニングスタッフ、安達地方広域消防職員による救命救急の実習が行われました。

5～6名のグループに分かれ人形を使った胸骨圧迫の訓練や、倒れた方への声掛け、大きな声での119番通報、AEDの使用法など2時間近く教えていただきました。救急車が到着するまでの時間は平均8.8分、その間胸骨圧迫やAEDを使って救命救急対応を行います。一人では体力が持ちませんが、声を掛けて近くにいる人の力も借りましょう。

AEDセットの中に入ってるパッドは大人用と子供用が用意されていますが、子供用を大人に使用しないでくださいとの事でした。(公共施設にはAEDが設置されていますが、当院はどこに設置されているでしょうか。)

先生より119番通報も大切ですが、近くにいた人が「命」を救えること、初期対応がとても大事であり勇気を出して一歩ふみ出し救命にあたってくださいとお話いただきました。今回参加できなかった方、次回の講習会に参加されてみてはいかがでしょうか。

私にもできる一歩、声を出してみたいと思った有意義な講習会でした。

総務企画課 八田 美幸



屋内消火栓操作法大会に参加しました



去る9月13日(水)毎年の恒例行事として安達地方広域行政組合消防本部主催の第31回安達地方屋内消火栓操作法競技大会が二本松市郭内の城山総合体育館北側駐車場で行われました。参加チームは17チームで日頃の訓練の成果を発揮して、火事の発見から初期消火(水バケツと水消火器)、初期消火から延焼し、消火栓を操作し40メートル先の第二火点に向けて放水する消火栓操作法を行いました。

二本松病院からはリハビリ科の内海洋亮さん、看護師の中田史子さん、介護福祉士佐久間聡さんの3人が代表者として参加されました。



大会前に何度も練習を繰り返し、大会では訓練どおりスムーズに行うことができました。

なお、指揮者を担当した佐久間聡さんが個人優秀の部で表彰されました。来年も表彰されるよう頑張らしましょう。

総務企画課事務長補佐 村田 則久





9月4日、5日と各階に分けて避難訓練を行いました。前回は全てスタッフのみで役割を決め行いましたが、今回は利用者みなさんも避難対象とし、ご協力していただきました。

訓練内容としては時間帯を日中、詰所内での出火を想定し、事務所、デイ、各階職員の計7名にて水平避難という方法で、その階の非常口まで利用者を安全に誘導するというものでした。いざ訓練を開始すると出火場所に向かって歩いていってしまったり、逃げ遅れてしまいそうになる利用者が見られるなど、スタッフ間の連携がいかに重要かを改めて知ることが出来ました。



今回はスタッフ、利用者全員が訓練に参加することは出来ませんが、今回の反省点を次回の訓練に活かし、今後も定期的実施していき、もし、火災が起きてしまった場合でも、各自の行動を理解することで、スタッフ一人一人の防災の意識が高まり、利用者の安全・安心につながっていきます。

介護福祉士 佐藤 恭助



带状疱疹の予防接種

50歳になったら接種しましょう

带状疱疹は、80歳までに約3人に1人がかかる身近な病気です。带状疱疹はワクチンで予防ができる感染症です。

「带状疱疹の予防接種」をご希望の方は当院にて接種可能です。(要予約)詳しくは、当院窓口までお問い合わせください。なお、電話での予約も受付しております。



入院セットのご案内

レンタルシステムをご用意してます

当院では患者様に安心して快適な入院生活をお送りしていただくために、入院中必要な「寝具・タオル類・紙おむつ・日用品等」がご利用いただけるレンタルシステム(LTセット)をご用意しております。

ご希望の方は病院スタッフまでお問い合わせください。



栄養管理室では、患者さんに行事食を提供しています。

今月は、敬老の日の行事食を紹介いたします。

メニュー
紹介

赤飯・イカと大根の煮物・茶碗蒸し・おひたし・紅白つるのこ

編集後記

空気が澄んで体を動かすのもよし、美味しい食べ物をいただくのもよし、気持ちいい月になりましたね。10月4日は中秋の名月でしたがいかがでしたか？
毎日スマホばかりを見ていないで、時には足を止めて素晴らしい季節を感じてみましょう。 Y・M記